

平成26年12月12日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 北 野 俊  
 ( J A S D A Q コード番号 : 7 6 2 3 )  
 問 い 合 せ 先 常務取締役管理本部長 古川 晴 男  
 T E L 0 4 5 - 4 7 3 - 1 2 1 1 (代表)

平成27年4月期第2四半期業績予想と実績との差異  
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年4月期第2四半期累計期間(平成26年5月1日から平成26年10月31日まで)の業績予想(平成26年6月19日付当社「平成26年4月期決算短信」にて公表)と、平成27年4月期第2四半期累計期間の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。あわせて、最近の業績動向等を踏まえ、平成27年4月期通期業績予想数値を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年4月期第2四半期連結業績予想値との差異  
 (平成26年5月1日～平成26年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成26年6月19日発表)	17,000百万円	70百万円	80百万円	45百万円	14円15銭
今回実績(B)	19,341百万円	▲338百万円	▲326百万円	▲294百万円	▲93円93銭
差異(B-A)	2,341百万円	▲408百万円	▲406百万円	▲339百万円	
差異率	13.8%	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (平成26年4月期)	19,245百万円	64百万円	73百万円	▲38百万円	▲12円06銭

【差異が生じた理由】

消費税増税による販売価格への転嫁に伴い消費者の購買意欲の減少が予想以上の長期化となっているなかで、顧客数の増加を目指しお客様満足度の向上を図る諸施策を実施した結果、エネルギー事業を始めとする各事業で顧客数は増加し売上高は予想値を上回りました。

しかしながら利益面では、消費税増税後の自動車販売の落ち込みの影響を受け、輸入車各ブランド間でも販売競争が激化した結果、適正な台当たり利益確保が難しくなり、販売台数についても期初の販売計画台数を下回ったため、自動車販売部門の利益水準は計画を下回る結果となりました。

一方、エネルギー事業では、対象期間の期初は、販売価格は高水準で推移しましたが、SS間での販売

競争は依然として厳しく、顧客獲得競争の激化によるマージンの低下が続き、期の後半からは原油価格下落を反映した価格の下落傾向が続いた結果、前年同期に比べ改善傾向がみられたものの、黒字化を達成するには至りませんでした。

以上により、営業利益を始め各利益は予想値を下回る結果となりました。

## 2. 平成27年4月期通期連結業績予想値の修正

(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成26年6月19日発表)	40,000百万円	200百万円	200百万円	140百万円	44円01銭
今回予想修正 (B)	40,000百万円	100百万円	100百万円	60百万円	19円15銭
差 異 (B-A)	0百万円	▲100百万円	▲100百万円	▲80百万円	
差 異 率	0.0%	▲50.0%	▲50.0%	▲57.1%	
(参考)前期実績 (平成26年4月期)	41,127百万円	270百万円	278百万円	61百万円	19円22銭

### 【通期業績予想値の修正理由】

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの進捗状況および今後の市場動向等を勘案した結果、平成26年6月19日に公表いたしました連結業績予想を修正することといたしました。

以上

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報にもとづいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。